

9月より、科学的介護の実践が始まりました。

「ともの家」全体の取り組みとして、栄養・水分・運動の3項目を挙げて、各利用者さんの問題点を探り、科学的根拠に基づいた改善を目指すのですが、吾も紅では“運動班”の職員が中心となりメニューを考え、平行棒を使った歩行・トレーニングに取り組んでいます。（その他、下肢筋力強化体操なども行っています）

普段歩行器や車いすを使用して自力で歩けない方も平行棒を掴んでなら歩行できるため、例外を作らず「全員」が、毎日取り組み、達成できたら壁の花にシールを貼っていく趣向。達成感が得られるため、皆さん競って励んでいます。

初めは一往復がやっとだったのに、回を重ねるごとに歩数が増え、「足のむくみが取れた！」と早くも成果が見られる方もおり、3か月後が楽しみです。

さて、20日は敬老の日。

今年も全体開催が難しいため、事業所ごとにお祝いすることになりました。

吾も紅の職員会で、どんなことをすれば喜んでいただけるか知恵を絞りました。

まず出し物は

- 1 お祝いの言葉（責任者）
- 2 「老年の主張」（一言スピーチ）
- 3 職員によるダンス（ジルバ）
- 4 職員と利用者さん有志による劇「水戸黄門」
- 5 合唱・合奏「瀬戸の花嫁」「浜辺のうた」「上を向いて歩こう」
- 6 贈り物贈呈

となりました。

贈り物は、縁起の良い鶴亀をあしらったカード（職員手作り）

マッサージ券（得意な職員がいるので）

おはぎ（あんこと黄な粉）です。



なんと、ボランティアさんとして職員の知り合いの親子が来てくれることになり、ピアノを演奏してくれるとのこと、合唱曲の他に連弾を披露してくれると。楽しみです！



最大の目玉である劇の配役は、主人公の黄門様をKさんにお願ひしました。

サンタクロースの白髭がとてもよくお似合いだったので、即スカウトです。

控えめなKさん、照れながらも引き受けてくださいました。

町娘にはK夫人、I夫人、Y・Sさん。助さん格さん、悪代官一味を職員が演じます。

女性陣の方が度胸がすわっているのか、「何でもしますよ」と皆さん軽くOK。

戦後靴下と女性は強くなった… (?)

衣装はあちこちから着物や袴をもちより、
頭巾は利用者さん O さんが手縫いしてく
れました。

刀や印籠という小道具もそろえ、用意する
段階で気分が高まっていきます。

というものの、いつもの通り台本はなく
「全てアドリブで」。黄門 K さん「わしゃ
あ、アドリブが苦手な…」と言い汗をかき
かき熱演してくださいました。



さて、内容はといいますと…

定番の勧善懲悪ながら、助さん格さんは倒され、最後に黄門様が杖で悪代官を退治。

無事に娘たちを助け出し伊予の国・松山藩に平和が戻る…というストーリー。

観衆の笑いを取れたので、私としてはなかなか良い出来だったのではないかと思います。皆さん、着物姿もとてもお似合いです！

来年の敬老会までにはもう少し熟達した劇をお見せできるのではないのでしょうか。来年も同じ配役で劇ができますように。

一言スピーチは、「歩んできた道、これからの世代に伝えたいこと」という題で何でも語っていただきました。それぞれの方が自分の言葉で述べられ、よかったです。

ボランティアで来てくださった福田さん親子、とてもお上手で思わず「アンコール」の声。ぜひまた来ていただきたいです。色々工夫を凝らして楽しい会になりました。

催しが終わって第二部は食事会。ビールやジュース
で乾杯し、ご馳走が並びます。

栗入り赤飯・刺身盛り合わせ・コロッケ・肉じゃが・
鯛そうめん・フルーツ…

近所の保育園から届いたビデオメッセージを見なが
ら、歓談の場となりました。

どの方も笑顔で、楽しい一日だったと思います。



皆さん、本当におめでとうございます。これまで歩
んでこられた道のりに敬意を払い、これからの道のりが穏やかで幸せであることをお祈りします。
どうかお元気でお過ごしください。